国保かごしま
2017
9
No.602
鹿児島県国保連合会
KOKUHO KAGOSHIMA

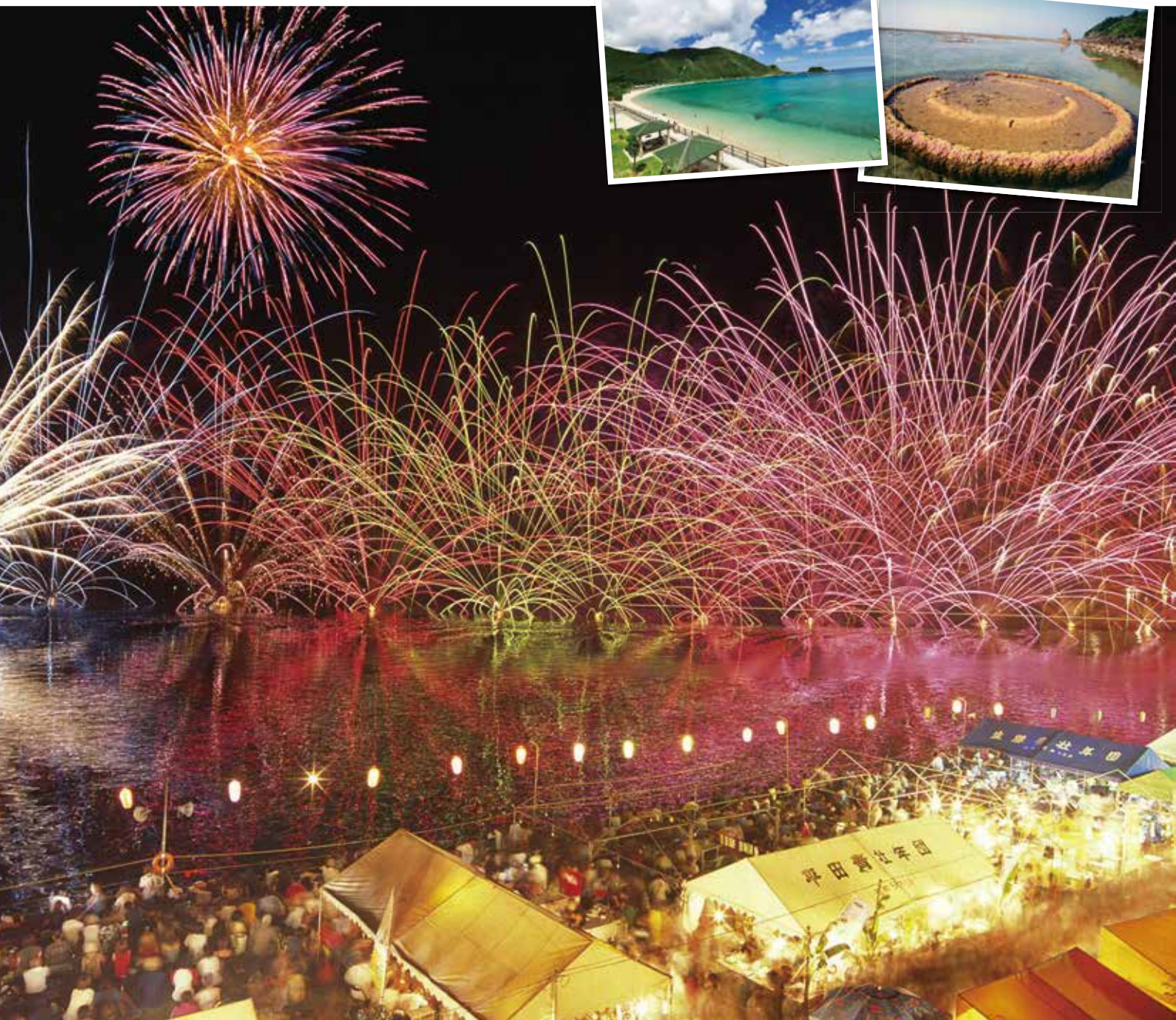
Feature
特集

特集
平成29年第2回鹿児島県国民健康保険団体連合会通常総会
業務支援のさらなる充実強化を図り保険者の負託に応える

市町村の取り組み
医療費適正化事業（湧水町）
げんき湧くわく教室で住民の健康寿命を延ばす

保健師の目線
合同会社保健指導センター南城　センター長 井上 優子
インスリンの仕事

国保でHOT情報
冷汗を伴う激しい胸部痛が持続する場合は早急に受診を



報告事項3件と議決事項18件全てが原案どおり可決・承認された第2回通常総会

葛迫博信事務局長

湊修一常務理事

本田修一理事長

県保健福祉部の藤本徳昭部長

特集

平成29年第2回鹿児島県国民健康保険団体連合会通常総会

業務支援のさらなる充実強化を図り保険者の負託に応える

鹿児島市のホテルウェルビューかごしまにおいて7月24日、第2回通常総会が開かれた。平成28年度の事業報告及び歳入歳出決算の認定、平成29年度予算補正等について審議され、3件の報告事項と18件の議決事項全てが原案どおり可決・承認された。

質の高い効率的なサービス提供に取り組む

開会にあたり本会の本田修一理事長（志布志市長）が「来年4月の都道府県が新たに保険者として参画する国民健康保険制度施行まで残り9カ月となり、保険者の共同事業体である国保連合会としても、しっかりと保険者の業務を支援し、その信頼を確保していくことが重要と考え取り組んでいる。去る6月9日に政府は、いわゆる『骨太の方針2017』を閣議決定し、医療費の地域差の解消など医療費適正化を図る観点から、都道府県のガバナンスを強化することや、影響が大きい国保の普通調整交付金の配分方法の見直しを検討することなど、国保の事業運営に大きな影響を与えかねない項目が盛り込まれており、今後とも国保財政基盤の強化に向けてしっかりと対応していかなければならないものと考える。本会としても、保険者のビッグデータ利活用の支援など、これまで以上に質が高く効率的なサービス提供に取り組むなど、事業の効率化に努めるとともに、審査支払機関としてのさらなる充実を図り、保険者の負託に応えられるよう努めてまいりたい」とあいさつした。

国保運営の安定化には保険者機能の強化が不可欠

続いて、来賓として鹿児島県保健福祉部の藤本徳昭部長が「新国保制度については、今後、国保運営方針の作成、標準保険料率の算定など準備業務が本格化する。県としては、各市町村及び国保連合会とさらに緊密な連携を図り、新制度に円滑に移行できるよう、着実に取り組んでまいりたい。各市町村においても、平成30年度に向けた税率改定、予算編成など遺漏のないよう準備を進めていただきたい。去る6月9日に閣議決定した、いわゆる『骨太の方針』においては、市町村国保データヘルスの取り組みを推進するとともに、国保の保険者努力支援制度等の活用により保険者のインセンティブを強化することなどが盛り込まれた。国保運営の安定化を図るためには、保険者機能の強化は不可欠であり、新制度においては、医療費の適正化、保険税収納率の向上などに、これまで以上に取り組んでいく必要があると考える。各保険者と国保連合会がより緊密に連携することにより、安定的な事業運営がなされ、被保険者がより一層安心して必要な医療を受けられる体制が確保されるよう祈念する」とあいさつした。

事務局の説明に対し、熱心に耳を傾ける出席者

業務のさらなる充実強化と円滑な推進に努める

続いて、本田修一理事長を議長に選出し、議事録署名者に西之表市の八板俊輔市長と南種子町の名越修町長を指名し、議事に入った。

報告第6号から第8号を各課長が説明し、原案どおり可決・承認された後、本会の葛迫博信事務局長が議案第22号の平成28年度事業報告について説明。その中で葛迫博信事務局長は「診療報酬審査支払事業について、公平・公正な審査支払業務に努め、審査の充実強化のため職員の研修などを実施し、事務共助体制の強化を図り、業務の適正な運営に努めたと報告。介護保険事業について、介護給付費等及び総合事業費の適正な審査支払業務、苦情処理業務の的確な対応に努め、また、保険者の事務の軽減と介護給付費の適正化を図るため、適正化支援事業を実施したと説明。保健事業等のための保険者支援については、医療費の大きな割合を占める生活習慣病を予防し、医療費の適正化に資するために、医療や健診・生活習慣等の現状を詳細に分析し、予防対策を保険者と検討し保健事業計画の策定や実施の支援を行い、また、ふれあいサロンへ支援者を派遣し、高齢者の健康保持・寝たきり防止を図るための保険者支援を行った」と述べ、事業計画の基本方針に基づき、重点事項を柱に事業を実施したと報告した。（重点事項については7ページに掲載）

引き続き、議案第23号から議案第39号までの審議および監査報告が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。

閉会にあたり、本会の湊修一常務理事が「本日提案した議案等について、全て議決・承認をいただいた。来年4月施行の新たな国保制度に向け、本会としても、県と連携を取りながら、スムーズに制度移行できるよう、また、制度移行後も円滑に運営できるよう、今後とも会員の皆様方の負託に応えるべく役職員一体となって、最大限の努力をしてまいりたい」と述べた。

事業実施状況及び決算監査の結果について監査報告を行う監事代理の竹内照二課長（十島村）

公告

平成29年7月24日の通常総会において、平成28年度一般会計並びに各会計の決算が承認されたので公告する。

鹿児島県国民健康保険団体連合会　理事長　本田　修一

《平成28年度各会計別決算状況》

◉ 一般会計

（単位：円）

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 負担金	79,952,000	79,933,825	1 会議費	995,000	832,308
2 国庫支出金	18,867,000	17,266,000	2 総務費	136,029,000	123,105,443
3 国保中央会支出金	1,000	0	3 事業費	128,762,000	121,585,696
4 財産収入	1,968,000	1,867,425	4 借入金償還金	1,000	0
5 繰入金	913,723,000	891,152,005	5 積立金	11,068,000	10,870,831
6 繰越金	53,252,000	53,252,644	6 繰出金	44,010,000	44,009,323
7 諸収入	17,359,000	18,981,782	7 諸支出金	729,162,000	729,157,118
8 借入金	1,000	0	8 予備費	35,096,000	0
歳入合計	1,085,123,000	1,062,453,681	歳出合計	1,085,123,000	1,029,560,719

◉ 診療報酬審査支払特別会計　業務勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 手数料	660,452,000	634,052,343	1 総務費	1,014,057,000	872,351,586
2 国庫支出金	142,685,000	141,638,500	2 審査委員会費	44,788,000	42,520,343
3 国保中央会支出金	1,000	0	3 レセプト電算処理システム特別分担金	75,602,000	75,061,536
4 助成事業受入金	191,034,000	194,463,138	4 助成事業支出金	194,680,000	194,463,138
5 財産収入	99,000	75,741	5 積立金	116,579,000	112,234,547
6 繰入金	495,389,000	399,784,784	6 特別審査負担金	2,934,000	2,417,697
7 繰越金	29,383,000	29,382,613	7 借入金償還金	1,000	0
8 諸収入	49,588,000	43,524,208	8 諸支出金	79,163,000	73,131,263
9 借入金	1,000	0	9 予備費	40,828,000	0
歳入合計	1,568,632,000	1,442,921,327	歳出合計	1,568,632,000	1,372,180,110

◉ 診療報酬審査支払特別会計　国民健康保険診療報酬支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 国民健康保険診療報酬受入金	153,646,578,000	148,705,923,337	1 国民健康保険診療報酬支出金	155,170,501,000	149,961,026,275
2 借入金	700,000,000	0	2 市町村貸付金	700,000,000	0
3 市町村償還金	700,468,000	0	3 借入金償還金	700,468,000	0
4 繰越金	366,597,000	366,596,871	4 繰出金	25,033,000	25,031,167
5 諸収入	2,000	0	5 予備費	1,000	0
6 国庫支出金	1,523,924,000	1,304,369,866	6 諸支出金	341,566,000	341,565,704
歳入合計	156,937,569,000	150,376,890,074	歳出合計	156,937,569,000	150,327,623,146

◉ 診療報酬審査支払特別会計　公費負担医療に関する診療報酬支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 公費負担医療受入金	3,879,488,000	3,412,873,519	1 公費負担医療支出金	3,879,488,000	3,416,201,689
2 繰越金	11,857,000	11,857,654	2 予備費	3,329,000	0
3 諸収入	2,000	0	3 繰出金	8,530,000	8,529,408
歳入合計	3,891,347,000	3,424,731,173	歳出合計	3,891,347,000	3,424,731,097

◉ 診療報酬審査支払特別会計　出産育児一時金等に関する支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 出産育児一時金等受入金	4,075,002,000	3,890,557,065	1 出産育児一時金等支出金	4,075,002,000	3,890,557,065
2 借入金	1,000	0	2 市町村貸付金	1,000	0
3 市町村償還金	2,000	0	3 借入金償還金	2,000	0
4 繰越金	1,000	0	4 予備費	3,000	0
5 諸収入	2,000	0			
歳入合計	4,075,008,000	3,890,557,065	歳出合計	4,075,008,000	3,890,557,065

◉ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計　業務勘定

（単位：円）

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 手数料	581,697,000	570,360,055	1 総務費	601,870,000	503,740,841
2 国庫支出金	6,034,000	4,246,500	2 審査委員会費	64,494,000	61,033,505
3 県支出金	1,000	0	3 特別審査負担金	1,890,000	1,459,303
4 財産収入	22,000	21,252	4 積立金	63,772,000	53,205,072
5 繰入金	68,521,000	68,447,065	5 繰出金	21,000,000	21,000,000
6 諸収入	9,000	802,106	6 負担金	55,264,000	55,085,117
7 繰越金	51,371,000	51,370,972	7 借入金償還金	1,000	0
8 借入金	1,000	0	8 諸支出金	1,000	0
9 分担金	140,047,000	40,433,448	9 予備費	39,411,000	0
歳入合計	847,703,000	735,681,398	歳出合計	847,703,000	695,523,838

◉ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計　後期高齢者医療診療報酬支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 後期高齢者医療診療報酬受入金	256,628,827,000	254,645,987,025	1 後期高齢者医療診療報酬支出金	256,628,827,000	254,645,987,025
2 県支出金	1,000	0	2 予備費	4,000	0
3 繰越金	1,000	0			
4 諸収入	2,000	0			
歳入合計	256,628,831,000	254,645,987,025	歳出合計	256,628,831,000	254,645,987,025

◉ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計　公費負担医療に関する診療報酬支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 公費負担医療受入金	1,258,034,000	1,104,907,345	1 公費負担医療支出金	1,258,034,000	1,104,907,208
2 県支出金	1,000	0	2 予備費	3,000	0
3 繰越金	1,000	991	3 繰出金	1,000	991
4 諸収入	2,000	0			
歳入合計	1,258,038,000	1,104,908,336	歳出合計	1,258,038,000	1,104,908,199

◉ 保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 共同事業拠出金	67,205,133,000	63,986,637,866	1 総務費	12,360,000	11,451,685
2 国庫支出金	27,702,000	36,043,000	2 交付金支出金	67,205,133,000	63,986,637,866
3 超高額医療費共同事業交付金	171,388,000	104,320,833	3 超高額医療費共同事業医療費拠出金	150,309,000	143,247,551
4 繰入金	2,000	0	4 基金積立金	2,000	0
5 繰越金	68,058,000	68,056,383	5 予備費	104,482,000	0
6 諸収入	2,000	0			
7 財産収入	1,000	0			
歳入合計	67,472,286,000	64,195,058,082	歳出合計	67,472,286,000	64,141,337,102

◉ 第三者行為損害賠償求償事務共同事業特別会計

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 損害賠償受入金	575,694,000	550,404,333	1 損害賠償支出金	575,714,000	550,424,333
2 繰越金	3,611,000	3,610,245	2 予備費	0	0
3 諸収入	1,000	0	3 諸支出金	3,592,000	3,590,245
歳入合計	579,306,000	554,014,578	歳出合計	579,306,000	554,014,578

◉ 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計　業務勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 手数料	43,882,000	42,858,053	1 総務費	49,040,000	43,977,469
2 国庫支出金	4,778,000	4,934,000	2 負担金	8,086,000	6,943,145
3 積立金運用収入	1,000	795	3 積立金	5,089,000	5,086,669
4 積立金繰入金	5,439,000	4,635,045	4 予備費	2,358,000	0
5 繰越金	10,389,000	10,388,852			
6 諸収入	84,000	83,818			
歳入合計	64,573,000	62,900,563	歳出合計	64,573,000	56,007,283

◉ 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計　特定健康診査・特定保健指導等費用支払勘定

（単位：円）

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 特定健診・特定保健指導等費用受入金	1,111,784,000	896,228,879	1 特定健診・特定保健指導等費用支出金	1,111,784,000	896,228,879
2 繰越金	1,000	0	2 予備費	3,000	0
3 諸収入	2,000	0			
歳入合計	1,111,787,000	896,228,879	歳出合計	1,111,787,000	896,228,879

◉ 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計　後期高齢者健診等費用支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 後期高齢者健康診査等費用受入金	374,354,000	374,353,919	1 後期高齢者健康診査等費用支出金	374,354,000	374,353,919
2 繰越金	1,000	0	2 予備費	3,000	0
3 諸収入	2,000	0			
歳入合計	374,357,000	374,353,919	歳出合計	374,357,000	374,353,919

◉ 介護保険事業関係業務特別会計　業務勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 手数料	160,133,000	158,838,961	1 総務費	123,332,000	106,194,254
2 負担金	3,534,000	3,536,849	2 審査委員会費	2,238,000	1,959,548
3 国庫支出金	2,000,000	2,220,957	3 介護サービス苦情処理委員会費	1,043,000	840,260
4 県支出金	1,000,000	1,000,000	4 国保中央会負担金	39,271,000	39,270,178
5 国保中央会支出金	486,000	245,640	5 主治医意見書料等支出金	88,604,000	78,600,776
6 主治医意見書料等受入金	88,604,000	78,600,776	6 介護予防ケアマネジメント負担金支出金	48,000	47,300
7 介護予防ケアマネジメント負担金受入金	48,000	47,300	7 積立金	27,768,000	25,084,481
8 財産収入	16,000	15,902	8 諸支出金	15,204,000	15,066,693
9 繰入金	72,066,000	65,545,711	9 予備費	59,535,000	0
10 繰越金	28,933,000	28,932,634			
11 諸収入	223,000	744,365			
歳入合計	357,043,000	339,729,095	歳出合計	357,043,000	267,063,490

◉ 介護保険事業関係業務特別会計　介護給付費等支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 介護給付費受入金	152,648,629,000	147,407,975,236	1 介護給付費支出金	152,648,068,000	147,407,975,236
2 介護予防・日常生活支援総合事業費受入金	422,834,000	423,394,665	2 介護予防・日常生活支援総合事業費支出金	423,395,000	423,394,665
3 借入金	100,000,000	0	3 市町村貸付金	100,000,000	0
4 市町村償還金	100,067,000	0	4 借入金償還金	100,067,000	0
5 繰越金	1,225,000	1,225,426	5 繰出金	1,226,000	1,225,426
6 諸収入	2,000	0	6 予備費	1,000	0
歳入合計	153,272,757,000	147,832,595,327	歳出合計	153,272,757,000	147,832,595,327

◉ 介護保険事業関係業務特別会計　公費負担医療等に関する報酬等支払勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 公費負担医療等受入金	1,400,912,000	1,250,979,186	1 公費負担医療等支出金	1,400,912,000	1,250,979,186
2 繰越金	9,000	9,787	2 繰出金	10,000	9,787
3 諸収入	2,000	0	3 予備費	1,000	0
歳入合計	1,400,923,000	1,250,988,973	歳出合計	1,400,923,000	1,250,988,973

◉ 障害者総合支援法関係業務等特別会計　業務勘定

歳入			歳出		
款別	予算現額	収入済額	款別	予算現額	支出済額
1 手数料	47,730,000	40,848,746	1 総務費	31,068,000	26,447,426
2 国庫支出金	1,000	0	2 国保中央会負担金	22,355,000	19,712,709
3 県支出金	1,000	0	3 訪問調査委託料支出金	1,000	0
4 国保中央会支出金	187,000	131,560	4 積立金	6,705,000	4,811,037
5 訪問調査委託料受入金	1,000	0	5 予備費	20,632,000	0
6 財産収入	4,000	4,037			
7 繰入金	19,872,000	19,029,721			
8 繰越金	12,963,000	12,962,309			
9 諸収入	2,000	167			
歳入合計	80,761,000	72,976,540	歳出合計	80,761,000	50,971,172

◉ **障害者総合支援法関係業務等特別会計　障害介護給付費支払勘定**

（単位：円）

歳入 款別		予算現額	収入済額
1	障害介護給付費受入金	39,078,187,000	37,143,720,194
2	借入金	78,000,000	0
3	市町村償還金	78,053,000	0
4	繰越金	1,000	0
5	諸収入	2,000	0
歳入合計		39,234,243,000	37,143,720,194

歳出 款別		予算現額	支出済額
1	障害介護給付費支出金	39,078,187,000	37,143,720,194
2	市町村貸付金	78,000,000	0
3	借入金償還金	78,053,000	0
4	予備費	3,000	0
歳出合計		39,234,243,000	37,143,720,194

◉ **障害者総合支援法関係業務等特別会計　障害児給付費支払勘定**

歳入 款別		予算現額	収入済額
1	障害児給付費受入金	7,943,946,000	6,758,613,072
2	繰越金	1,000	0
3	諸収入	2,000	0
歳入合計		7,943,949,000	6,758,613,072

歳出 款別		予算現額	支出済額
1	障害児給付費支出金	7,943,946,000	6,758,613,072
2	予備費	3,000	0
歳出合計		7,943,949,000	6,758,613,072

◉ **各会計合計**

歳入 款別	予算現額	収入済額
歳入合計	698,184,236,000	676,165,309,301

歳出 款別	予算現額	支出済額
歳出合計	698,184,236,000	675,816,965,188

《財産目録（平成28年度）》

平成29年3月31日現在

1　現金の部……0円 ①
2　預金の部……348,344,113円 ②

普通預金……348,344,113円
ア　一般会計……32,892,962円
イ　診療報酬審査支払特別会計……120,008,221円
ウ　後期高齢者医療事業関係業務特別会計……40,157,697円
エ　保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計……53,720,980円
オ　第三者行為損害賠償求償事務共同事業特別会計……0円
カ　特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計……6,893,280円
キ　介護保険事業関係業務特別会計……72,665,605円
ク　障害者総合支援法関係業務等特別会計……22,005,368円

3　債券の部……0円 ③
4　積立金の部……2,019,798,925円 ④
普通預金……174,395,738円
定期預金……1,845,403,187円

区分	28年度末（単位：円）
保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業基金	0
一般会計積立資産	1,349,024,677
退職給付引当資産	106,851,574
国民健康保険財政調整基金積立資産	55,041,000
後期高齢者医療財政調整基金積立資産	22,059,000
特定健康診査財政調整基金積立資産	2,621,000
介護保険財政調整基金積立資産	15,451,000
障害者総合支援法財政調整基金積立資産	3,938,000
一般会計減価償却引当資産	59,627,949
国民健康保険減価償却引当資産	262,077,690
後期高齢者医療減価償却引当資産	105,701,750
特定健康診査減価償却引当資産	6,044,241
介護保険減価償却引当資産	28,502,954
障害者総合支援法減価償却引当資産	2,858,090
総計	2,019,798,925

合計（①＋②＋③＋④）＝2,368,143,038円

事業計画の基本方針に基づき、次の重点事項を柱に事業を実施

審査支払関係

❶査定率向上のための研究や職員の審査事務の質の向上を図るため、業務研修体制を充実すること等により、職員のスキルアップに努めた。
また、適正で公正な審査支払業務を行うため、査定率の目標値を設定のうえ、審査支援システムによる点数表の解釈の算定ルールなどに基づくコンピュータチェックにより効果的な審査に取り組むとともに、審査内容の質的変化に対応しながら審査委員と更なる連携強化を図り、査定率の向上に努めた。

❷平成29年度から全保険者で予防給付が介護予防・日常生活支援総合事業に移行されるため、円滑な事業開始に向けた保険者支援を行った。

❸保険者におけるレセプト点検の充実を図るため、保険者担当者を対象とした実務者研修会を開催した。また、再審査の申出疑義内容と審査結果情報を保険者に提供するなど、情報提供を行った。

保険者支援関係

❶地域の保健活動に従事する在宅保健師等の組織の支援を行い在宅保健師の増員及びサロンの増設に努め、市町村の健康まつり、高齢者の健康保持と仲間づくり、また閉じこもり防止や寝たきり予防を目的に開設しているふれあいサロンに在宅保健師等を派遣した。また、市町村の健康づくり推進員や在宅保健師・看護師会会員を対象として、県内6地区で高齢者ふれあいサロン支援者研修会を開催した。

❷保険税収納率向上事業においては、国保税（料）の収納率向上を目的に保険者の徴収業務を通じての意識改革を目的とした捜索から、動産差押えインターネット公売などの研修会を実施した。また、保険者に収納アドバイザーを派遣し、収納に関する指導・助言等を行いながら保険者の収納率向上を支援し、その結果については、研修会にて報告を行った。なお、収納アドバイザーを過去に事業を行った保険者への派遣も行った。

❸生活習慣病予防支援事業を発展させ、国保データベースを活用し、データヘルス計画が策定できるようブロック別の説明会及び26保険者を訪問し、医療・健診データより生活習慣病の課題分析を行い、予防対策を保険者と検討しデータヘルス計画の策定や実施・評価を行うための情報提供及び支援を行った。また、保険者が作成したデータヘルス計画に基づき実施した事業について、「保健事業支援・評価委員会」において、指導・助言を行った。

❹保険者の国保担当者、保健師・管理栄養士等が国保データベース（ＫＤＢ）システムを活用して策定するデータヘルス計画を実施するためのデータ分析の方法及び分析結果から保健事業計画策定へ展開するスキルの向上、保健指導の実践できる技術を習得する研修会を開催した。
また、保険者が行う保健事業の支援として「KDB システム」に無いデータや帳票を提供できるよう新医療費分析システムを構築した。

❺重複・頻回受診対策として保険者の担当者、在宅保健師向けの研修会を開催し、在宅保健師を保険者に派遣し本会で抽出しているリストを基に、重複・頻回受診者を対象に訪問指導を実施した。

❻広報事業においては、保険者への調査、広報委員会での意見を基に、広報番組「国保で HOT 情報」と機関誌「国保かごしま」で連携して、国保や介護制度の仕組み、データヘルス計画に基づいた保健事業の取り組み、ジェネリック医薬品の利用促進等の情報を広報し、機関誌の「国保かごしま」は、保健師による保健指導等についての助言を掲載した。
また、被保険者の健康づくりへの契機となるよう健康増進月間作文・標語コンクールの実施や保険者の医療費適正化に資するため国保税（料）の収納促進ポスターを作成し、保険者等へ配布した。また、保健事業の参考とするため、各保険者の保健事業の取り組み（冊子）を制作し、各保険者等に配布した。

❼保険者の医療費適正化に資するため、交通事故、船舶事故、直接請求による第三者行為求償事務について保険者事務の支援に努め、損害賠償額の低い介護保険の交通事故の掘り起こしを行った。
また、求償事務システムを活用し、保険者から委任のない入院レセプトの照会を行い委任に繋げるとともに、保険者が交通事故証明書を入手出来ない場合に本会が取得し保険者の求償事務の軽減を図った。
さらに、損害保険会社への訪問、加害者への面談を行い損害賠償額の拡大に繋げた。

❽保険税適正算定マニュアルについては、２保険者でシミュレーションを行った。

❾介護給付適正化支援事業については、保険者の事務の軽減と介護給付費の適正化を図るため、全保険者を対象に、縦覧点検及び医療情報との突合点検を本会で実施し、事業所への確認・過誤申立処理まで一連の作業を行った。また、より効率的な処理を行うため、システムの改修と運用改善を行った。
さらに、保険者担当者向けの研修会を開催し、システムの操作方法や適正化帳票の活用方法について説明した。

❿レセプト点検共同事業については１９保険者から受託しているが、受託促進により新たに２保険者から委託を受けた。

その他の事業

❶保険者協議会の事務局として、各医療保険者間の連携・情報共有に努め、特定健診、特定保健指導推進研修及びスキルアップ研修会を開催した。
また、県内の医療保険者の医療費・特定健診のデータを分析及び地域的傾向を可視化し、県の地域医療構想計画の参考となるよう県に意見を提出した。

❷市町村が実施する乳幼児等医療費助成事業、ひとり親家庭等医療費助成事業について、自動償還方式により審査集計事務を行い、市町村事務の軽減を図った。

❸介護サービス苦情処理業務について、苦情事例をホームページ上で容易に検索・表示できるようにした。また、財源確保のため県と交渉して、苦情処理体制整備事業費として県費補助を獲得し、経費削減のため介護相談室を介護保険課内へ移転した。

保健師ルポ

枕崎市健康課健康促進係の職員のみなさん（筆者前列中央）

「市民に寄り添い身近に思える保健師を目指す」

枕崎市健康センター　保健師
小牧　麻衣

「だしの香るまち」枕崎市

枕崎市は、薩摩半島の西南端に位置し、東シナ海に面する温暖な地域です。人口は約2万2000人と小さな市ですが、豊かな自然に囲まれ、生産量日本一を誇る鰹節や、お茶、電照菊など農水産業が盛んな「だしの香るまち」とも言われています。また、本土最南端の始発・終着駅である枕崎駅や、薩摩半島随一を誇る雄大な景観の火之神公園、戦艦大和殉難鎮魂之碑のある平和祈念展望台などがあり、歴史と文化のまちでもあります。毎年8月に行われる枕崎港まつり「さつま黒潮きばらん海」では、最終日の夜に花火大会があり、九州最大である3尺玉が打ち上げられます。夏の夜空に上がる3尺玉は圧巻の美しさです。ぜひ一度枕崎に足をお運びください！

職員全員が一致団結して特定健診を盛り上げる工夫

私が勤める枕崎市健康センターは、老人福祉センターが併設されており、係長、技師長（保健師）、庶務2名、保健師6名（内1名育休中）、管理栄養士1名、嘱託職員5名の総勢16名で毎日一緒に楽しく仕事をしています。

私の出身は枕崎ではありませんが、縁あって平成26年に枕崎市民になりました。そして平成27年に枕崎市役所に入庁し、今年度から特定健診・特定保健指導の担当になりました。以前は病院で勤務をしており、保健師として働き始めて3年目になります。私事ですが昨年第1子を出産し、お休みをいただいていたので、保健師の実務経験としてはまだ2年目に入ったところです。母としても、保健師としても、まだまだ新米で、先輩方や家族に助けられながら、日々枕崎市民のみなさんの健康づくりのお手伝いをしています。

枕崎市では、特定健診は市民の方が受けやすいように、医療機関で受ける個別健診と、がん検診と一緒に受けることのできる複合健診（集団健診）の形をとっています。複合健診で受診されなかった方のために予備の健診の日程（脱漏健

特定健診会場での受付の様子

診）を組んでおり、健診の前には、電話や訪問で受診勧奨をするなどの工夫も行っています。しかし、そのような工夫をしながらも、特定健診受診率は平成25年度以降ほぼ横ばいで、平成28年度には暫定受診率42・9％と前年度より低下しており、なかなか目標受診率に届かないという現状です。「このままではいけない！」と今年度は特定健診受診率60％を目指し、職員全員が一致団結して特定健診を盛り上げていこう、と特定健診PRポロシャツを作成しました。健康課の職員全員で特定健診PRポロシャツを着用し、7月4日から始まった集団健診に臨んでいます。集団健診開始の数日前には健康課の職員全員で、地元のスーパーに特定健診受診勧奨ののぼり旗を設置し、チラシを配布するなど、1人でも多くの方に特定健診のことを知ってもらおうと、たくさんの方へお声かけをしました。

特定保健指導に関しても、平成28年度は暫定41・5％と前年度よりも低下しており、いかにして実施率をあげていくかが課題です。

特定健診PRポロシャツのロゴ

質の高い保健指導は保健師の腕の見せどころ

しかし、今実際に保健指導を受けてくださっている方々へ、質の高い保健指導をしていくことも大切だと考えます。市民の方が自分の身体の状態を理解し、問題解決意識を持ってもらえるような保健指導をするのは、保健師の腕の見せどころだと思います。特定健診・特定保健指導の担当になってから、さまざまな研修へ参加をさせてもらっているので、研修で学んだことを、市民の方々へフィードバックできるよう、自己学習にも励んでいきたいと思っています。枕崎市では、特定健診を集団健診で受けた方全員を対象に、健康センターへ足を運んでいただいて、結果報告会で健診の結果をお渡しするという形をとっています。結果報告会の最後には、来ていただいた方全員に、試食会を設けています。

昨年度までは枕崎産の鰹節で贅沢にだしを取り、うま味たっぷりの具だくさん味噌汁や、おすましなどを試食していただきました。今年度はだしを醤油とみりんで調味した、うす味ですが、うま味のきいた小松菜のおひたしを試食してもらいました。「うす味なのに、だしがきいていておいしいね」と嬉しい声が聞かれます。

結果報告会で参加者が試食する
だしのきいた小松菜のおひたし

また、動機付け支援や積極的支援の方にはメタボ改善のために、おなかスッキリ教室を開催するなど、楽しく健康づくりができるよう心がけています。

平成28年度からは、保険者努力支援制度が前倒しで実施されるなど、私たち保健師に求められることはますます大きくなっています。課題は山積みですが、まずは目の前のするべきことを1つ1つクリアしていき、枕崎市民の方々が健康に年を重ねていくことができるよう努力していきたいと思います。そのために、もっと保健師としてスキルアップし、市民に寄り添い、一緒に健康づくりについて考えていけるような、市民の方々が身近に思える保健師を目指します。

市町村の取り組み

げんき湧くわく教室で住民の健康寿命を延ばす

医療費適正化事業

湧水町

1管理栄養士による「血糖値を上げにくい食生活について」　2受付後はまず血圧測定や体調をチェック
3健康運動指導士によるバランスボールを使った運動

特定保健指導・結果報告会など健診後の指導をする際に、血圧・血糖の値が高い人が多い湧水町。全体の医療費をみても高血圧、糖尿病など生活習慣病にかかる医療費が高くなっているのが特徴である。そこで、湧水町が国民健康保険医療費適正化事業の一環として行っている「げんき湧くわく教室」を紹介する。

血圧・血糖値が高い人が多い町

湧水町は鹿児島県の中央北端に位置し、霧島山系と九州山地に挟まれた盆地状の地形となっている。年中途絶えることなく冷水が湧き出る竹中湧水や丸池湧水があり、飲料水の水源や水田灌漑用水としても利用されるなど、水の恵も豊かである。

その湧水町では、特定健診後の指導をする際に、血圧や血糖値の高い人が多いのに気づいた。この原因を分析した結果、「1回30分以上の運動習慣のない人」、「1日1時間以上の運動を行っていない人」の割合が、鹿児島県の平均よりも高く出た。また「週3回以上就寝前に夕食を食べている人」の割合も高く、飲酒頻度が毎日の人も多いため、食生活において、血糖値を上げやすい習慣ができていると考えた。

そこで、湧水町の国保被保険者の生活習慣病対策として、生活習慣病の発症や重症化を予防し、健康寿命を延ばすことを目的とした「げんき湧くわく教室」に取り組んでいる。この教室は、湧水町にお住まいの75歳未満の人を対象に、月2回開催し、毎回健康に役立つための講話と楽しく元気になれる運動を紹介している。

血糖値を上げない食べ方の工夫

この日訪れた栗野保健センターでは、受付を終えた参加者に体調のチェックを行っていた。体重測定や血圧測定、そしてその日の体調や関節の痛みなどの確認が終わると、今回は管理栄養士による「血糖値を上げにくい食生活について」と題しての栄養講話があった。同町保健衛生課の福岡裕子管理栄養士はポイントとして、①適量でバランスのとれた食事をとる②よく噛んでゆっくり食べる③野菜から

食べる④甘味飲料・菓子類を控える⑤炭水化物の「重ね食い」に注意の5つを挙げ、食後の高血糖にならないための食事の摂り方について、分かりやすく具体的に説明していた。

続いて、松元弘二健康運動指導士による誰でもどこでも簡単にできるストレッチ体操をした後、バランスボールを使った運動が行われた。この教室を楽しみにしている参加者も多いようで、終始笑い声が響き、元気いっぱい取り組んでいた。健康運動指導士からは「教室に参加するだけでなく、普段から身体を動かすことを増やし、毎日続けることが大事」との話があった。

住民主体の健康づくりを目指す

「この教室は、参加者が主体となって健康増進に取り組み、生活習慣や検査結果が改善されることと、そして波及効果があることを目指して、平成26年度から実施している」と話す同町保健衛生課の田底福代保健師は、「本町は高齢化率が高く、高血圧や糖尿病などの生活習慣病のある人が多い傾向にある。この教室を利用してもらうことで、一人でも多くの方が長く元気で生活できることにつながって欲しい」と期待を込めた。

担当者よりひとこと！

保健衛生課
保健師　田底　福代

参加者の方々のお役にたてる内容にするため、試行錯誤しています。
医療費が適正化されることで国民皆保険制度が維持され、次世代も安心して生活できることを目指しています。